

令和6年度「教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修」の開催について ～SDGs 達成に向けた環境教育・ESD 実践講座～

環境省では、文部科学省の協力の下、持続可能な社会の構築を目指して、学校や地域で環境教育・ESD を実践・推進するリーダーとなる人材を育成することを目的に、本研修を開催します。

1 研修の趣旨

近年、気候変動、生物多様性の損失、環境汚染をはじめとする環境問題が深刻化しており、あらゆる主体による自発的な取組によって、個人の変容と組織や社会経済システムの変革とを連動させていくことが、これまで以上に求められています。持続可能な開発目標(SDGs)等の国際的な動きや、我が国における2050年までにネット・ゼロの実現を目指す動きの中、環境教育の取組においては、ESD(持続可能な開発のための教育)の考え方を踏まえつつ、全ての大人や子どもに対して、あらゆる場において、環境・経済・社会を統合的に向上させ、組織や地域社会などでの具体的な変革に向けた行動を進める視点をもって取り組むことが重要です。

こうした理解の下、学校においては、学習指導要領に基づき、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童生徒に、「生きる力」を育むに当たって、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の実現に向けた授業改善を図り、自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる等の資質・能力を教科等横断的な視点で育成するとともに、それらを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図ること(カリキュラム・マネジメント)が求められています。一方、環境省が令和2年度に実施した教職員を対象にしたアンケート調査では、ESDや環境教育の実施に対して「意欲が高い」または「どちらかと言えば意欲が高い」と回答した割合は半数程度に止まっているほか、環境教育を行う際の課題については、「適切な教材やプログラム等の準備ができない」等の回答が多くなっており、教職員の意識や授業準備の困難さ等が課題となっています。

また、環境教育を効果的に実施するためには、学校や企業、地域等のあらゆる機会において「体験活動」を実践することが重要であり、「体験の機会の場」等を有効に活用するなどして、環境や持続可能性に関わる問題を自分事化し、具体的な行動につなげる学びの機会を充実させていくことが重要です。

本研修は、これらを踏まえ、持続可能な社会の構築を目指し、さらに SDGs という世界共通の未来の価値を相互に磨き合う協働・共創を通して、学校や地域における質の高い環境教育・ESD を実践・推進するリーダーとなる人材を育成していくことを目的に開催します。

2 研修の内容

本研修では、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指す「カリキュラム・デザイン・コース」と、環境教育における体験活動の実践力向上を目指す「プログラム・デザイン・コース」を設けています。

■カリキュラム・デザイン・コース

環境教育・ESD のカリキュラムをデザインする力を養うことにより、学校や地域において、教科横断型で地域共生の視点を取り入れた環境教育・ESD を実践・推進していくリーダー人材を育成することを目的とします。

今年度は、集合型研修(オンライン、対面)と講師派遣型研修の2形態で実施します。

(1)集合型研修①(基礎編:オンライン型研修)

講義と校種別(小・中学校、高等学校)実践事例紹介、質疑応答等を行い、環境教育・ESD の基礎やカリキュラム・デザインのポイントについて学びます。

研修はオンライン会議システム『Zoom』を使用して2回開催します。

※ 第1回と第2回の研修は同内容であり、連続講座ではありません。

※実践事例紹介は、ブレイクアウトルームで小・中学校チーム(主に小・中学校の教職員等)と高等学校チーム(主に高等学校の教職員等)に分かれて実施します。

●対 象 環境教育・ESD、SDGs に取り組みたい教職員、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、地方公共団体、大学生・大学院生等

●日 時

<第1回> 令和6年7月 30 日(火) 15:00～17:00

<第2回> 令和6年8月3日(土) 15:00～17:00

●定 員 各回 500 名まで

(2)集合型研修②(実践編:対面型研修)

校種別(小・中学校チーム、高等学校チーム)に分かれて、グループワークを「対面型」で開催します。

・小・中学校チーム:

実践事例の紹介や各教科等と関連させた環境教育・ESD、SDGs の年間指導計画案(ESD カレンダー等)の作成

・高等学校チーム:

総合的な探究の時間を中心とした教科横断・地域連携の学習活動の整理等なお、講師による講義は、事前学習として YouTube 動画にて事前視聴いただきます。

●対 象 学校関係者(小・中・高等学校の教職員)、教育委員会、地方公共団体等、学校教育に関わりのある方

●日程・会場

<第1回> 令和6年9月 14 日(土) 10:30 ～ 16:00

会場:ビジョンセンター東京駅前

(東京都中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル)

<https://www.visioncenter.jp/tokyo/ekimae/>

<第2回> 令和6年 10 月5日(土) 10:30 ～ 16:00

会場:OMM

(大阪府大阪市中央区大手前1-7-31)

<https://www.omm.co.jp/access/>

●定 員 各回 100 名程度

(3)講師派遣型研修

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して講義＋グループワークを行います。環境教育・ESD、SDGs のカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、各教科等と環境教育・ESD、SDGs の視点を関連づけた年間指導計画表作成演習、または総合的な探究の時間を中心とした教科横断・地域連携の学習活動の整理等をベースとして、講師派遣を希望する団体のニーズに沿う形で、研修の日程・内容等を調整します。

既に ESD カレンダーを取り入れている学校については、その評価手法やブラッシュアップなど学校の進捗状況に沿った研修会を行うこともできます。また、ホールスクール・アプローチの向上につなげることもできます。

●対 象 学校、教育委員会、地方公共団体等、全国 10 箇所

●日程・内容 派遣先の希望に応じて柔軟に対応します。

事務局(esd-kensyu@jeef.or.jp)までメールにて御相談ください。

●申込の条件

- ・研修参加者が原則として 20 名程度以上確保できること
- ・研修時間を2～6時間程度確保できること
- ・研修会場(教室、会議室等)を確保できること
- ・参加者に研修直後に事前アンケート、数か月後にフォローアップアンケート回答への御協力をいただけること

※講師派遣、参加者への資料送付等に係る研修参加者の費用負担はございません。

●本研修の活用例

- ・学校全体での取組を推進するための学校での研修会や勉強会
- ・地域単位で環境教育や ESD を推進するための教育委員会等主催の研修会や複数の学校同士による合同研修会
- ・地域が連携した環境教育・ESD を推進するための教職員、行政職員、地域の環境教育関係者等を対象とした地方公共団体や教育委員会主催の研修会

(4)講 師(五十音順)

石田 好広 氏(目白大学 人間学部児童教育学科 教授)
 関口 寿也 氏(東京都多摩市立連光寺小学校 校長)
 建元 喜寿 氏(筑波大学附属坂戸高等学校 主幹教諭)
 棚橋 乾 氏(全国小中学校環境教育研究会 顧問)
 前田 修之 氏(佐賀大学教育学部附属特別支援学校 校長)
 松井 孝夫 氏(尾瀬高校活性化委員会 専門委員)
 松葉口 玲子 氏(横浜国立大学教育学部 教授)

■プログラム・デザイン・コース

環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された「体験の機会の場」において、体験型環境教育の質の向上や専門的な人材育成が推進されることを目的に設立された「体験の機会の場」研究機構(<https://esd-place.org/>)と連携して行います。また、「国立・国定公園」を活用して体験型環境教育を推進している事業者も加えて研修の充実を図ります。

持続可能な社会を構築するための取組と環境教育・ESD との関係を、五感を使って体験し、多様な主体と共感を分かち合いながら、体験活動を企画・実践するための視点や双方向型のコミュニケーションについて学びます。

- 対 象 学校教職員のほか、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、大学生・大学院生等の環境教育や体験活動、地域づくりに関心のある方
- 日 程 実施内容は以下のとおりです(研修時間6時間程度)。
各研修の正式な日時及び詳細等は Web サイトにて随時更新していきます。
- 定 員 各回 25 名程度
- 各 回

<体験の機会の場>

- (1)ホンダモビリティランド株式会社 モビリティリポートもてぎ(栃木県芳賀郡茂木町)
令和6年9月29日(日)
- (2)加山興業株式会社 会社施設及び養蜂場所(愛知県豊橋市)
令和6年10月26日(土)
- (3)株式会社オガワエコノス 会社施設及び周辺環境(広島県府中市)
令和6年11月4日(月・祝)
- (4)サンデン株式会社 サンデンフォレスト(群馬県前橋市)

令和6年11月30日(土)

(5) 藤クリーン株式会社 会社施設(岡山県岡山市)

令和6年12月13日(金)

(6) 朝日テクノ株式会社 いまり こまなきの里山(佐賀県伊万里市)

令和7年1月26日(日)

<国立公園・国定公園>

(7) 尾瀬国立公園 鳩待峠～尾瀬ヶ原(群馬県利根郡片品村ほか)

令和6年8月19日(月)

(8) 琵琶湖国定公園 琵琶湖水鳥・湿地センターほか(滋賀県長浜市ほか)

令和7年1月18日(土)

※各回、近隣の主要な駅から無料送迎バスを用意する予定です。

3 申込方法

(1) オンライン申込み

運営事務局のWebサイトにある「お申込みフォーム」に必要事項御記入の上、送信してください。なお、講師派遣型研修のみ、研修運営事務局まで直接メールでご相談ください。

研修公式Webサイト: https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

2 申込期限

カリキュラム・デザイン・コース及びプログラム・デザイン・コースともに原則、各研修開催日1週間前まで

※原則、先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。

3 研修受講前の準備について

カリキュラム・デザイン・コース集合型研修実践編: 対面型研修の受講においては、事前に御記入いただき当日お持ちいただく用紙(事前課題シート)がございます。

研修の詳細については、各研修開催の1週間前頃に送付する「研修のしおり」を御参照ください。

4 アンケート

本研修の運営向上のため、研修終了後に「事後アンケート」を、また、研修終了後の数か月後に本研修で得た学びをどのように活用されたか等をお伺いする「フォローアップアンケート」を実施しますので、御協力ください。

5 その他

- ・ 受講料は無料です。ただし、オンライン視聴における通信料金、研修会場や集合場所までの旅費や食費、宿泊費等も自己負担となります。
- ・ 体調不良等やむをえずキャンセルをする場合は、必ずお早めに御連絡いただきますよう御協力をお願いいたします。

【研修に関してのお問合せ】

研修運営事務局: 公益社団法人日本環境教育フォーラム内

担当: 金久保・中地

URL: https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

MAIL: esd-kensyu@jeef.or.jp

TEL: 03-5834-2897 FAX: 03-5834-2898